



近づく運動会



左の写真は、24日(火)の運動会の係が集まって話し合いをしている場面です。5・6年生の子供たちは、競技をしながら運動会の運営に関わります。これは、なかなか大変なことですが同時に、高学年の自覚をうながすチャンスでもあります。

運動会には、大勢の人が見にやってきます。その大勢の人たちの前で、自分たちが係の仕事を負い運動会を運営していくのです。係が動かなければ運動会は成功しません。そのことに責任をもつように、担当の先生から子供たちに話してあります。ご家庭でも、運動会終了後には、勝敗を越えて、係の仕事の責任を果たしたことについて大いに称賛してください。この運動会を通して、帯西イエローの心が活躍し、高学年の自覚がさらに高まれば、素晴らしいと思います。

右の写真は、廊下を歩いていると、6年生が5年生に応援団の演技指導を行っているところを発見し、カメラに収めたものです。5年生が演技を覚えたら、さらに下級生の学級に行き、手拍子や声出しなどを教えるのです。運動会という大きな行事の裏には、子供たち一人一人の努力があって、成り立っています。もちろん、そこにはそっと寄り添っている、教職員の姿があるのです。



コロナウイルス感染状況と運動会

県のHPによると「急激なリバウンドによる増加傾向への移行は防がれたように見えますが、感染者数の多い状況は継続しており、病床使用率も連休中に比べて増加していることから、注意が必要です。」とありました。最近は10代の感染者が多く、学校でも心配しているところです。そこで、保護者の皆様におかれましては、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。感染リスクが高まっている状況であることを踏まえ、少しでも症状がある場合は、学校を休み受診していただくようお願いします。また、運動会当日に学級閉鎖があると運動会は延期と考えています。今日・明日の過ごし方がとても重要になってきます。体調管理とチェックをお願いします。ご理解とご協力をお願いします。